私はより便利かつ効率化な社会の構築に挑戦したい。私は百貨店の免税カウンターでアルバイトをしている時、社員たちは毎日閉店前に自動免税機に補充すべき各額面価額の貨幣の枚数を計算する光景を見て、本当に効率が悪いと感じた。そこで社員さんの要望をヒアリングして自らExcelを活用し、自動免税機のお釣り補充業務を効率化させ、そして社員さんに感謝の言葉や手紙を頂いたことから、やりがいと達成感を感じたため効率化社会の構築を挑戦したくなった。これらの実行のためには、高い専門性や幅広い知識が求められるため、システムエンジニアとしてIT技術を身に付け、チームで協力しながらこの課題を解決したいと考えている。貴社では、国内でトップ売り上げを誇ることから高い技術力が伺えること、様々な製品を所有していることから、顧客への迅速かつ適切なソリューションを提供できることが魅力的である。以上から、貴社では新しいことに積極的に挑戦することを忘れず、顧客に寄り添い、考え、実行することで、便利かつ効率化な社会の構築に挑戦したい。

私は百貨店の免税スタッフとして、枚数上限などの制約を理解している社員やベテランの方しかできなかった手計算作業を、新人含め誰でも10秒で解決できるExcelFileを作り上げ、バイト先の自動免税機お釣り枚数補充業務を効率化したことがある。バイト先の百貨店では、閉店前に免税機に補充すべき各額面の貨幣の枚数を計算する時間がなかなか取れず、いつも残業する傾向が6ヶ月ほど続いた。この課題を解決するため、根本的な原因になる計算方法を変える必要があると上司に提案した。また、解決案としてExcelの拡張機能（SolverとVBA）を利用したら解決できそうな気がした。そこで、私は大学の授業でこなした課題を見直し、多くの試行錯誤を重ねた上で、貨幣の額面価額ごとの枚数を入力するだけで、補充すべき枚数が出てくるExcelFileを作り上げた。それを皆に共有し、より効率的に仕事を推進した。激しく変化しつつあるこの時代では、既存の仕組みに囚われず、積極的に新しいことを取り組んでいくのが効率の改善に役立つと実感した。

屋台売り上げナンバーの獲得